

# 平成 24 年度事業計画書

## 1 基本方針

戦後最大の被害をもたらした東日本大震災から 1 年が経過した現在も被災地では、多くの地域住民が消えることのない悲しみを抱きながら地域の復興に向けて歩み始めております。

しかしながら、福島原発のように先の見えない問題等が、従来から日本が抱えている様々な問題に拍車をかけ、問題解決の方向性が不透明の状況に新たな問題が積み重なる等、ますます国民の不安は深刻化を増大する情勢の中、様々なニーズと向き合い私たちができることから取り組んでまいりたいと考えております。

このような情勢の中、当協議会が目指しております「安心して生活できる福祉の町づくり」に少しでも貢献できるよう平成 24 年度の実業を進めてまいります。

当協議会の重点事業としております介護保険事業及び障害者自立支援事業等につきましては、今年度の介護保険制度改正に伴い、事業運営はより厳しい条件を提示されております。継続して職員の資質向上、提供サービスの質の向上、改正に伴う利用者の不安、負担軽減を図りながら事業展開してまいります。

社協事業の主要項目であります地域福祉の推進につきましては、災害、孤独死などの防止が急務とされておりますことから、地域住民や関係機関・団体との連携強化を図りながら、その他の住民ニーズと併せて対応してまいります。

高齢者、障害者等の地域支援事業につきましては、介護保険・障害者自立支援事業の補完事業として浦河町から委託を受け、給食サービス、移送サービス、電話サービス等を実施しております。在宅での自立した生活の継続と介護予防を助長するために、対象者に応じたサービスを提供してまいります。

高齢者生活支援団体「ポエム」につきましては、町からの軽度生活支援事業や社協訪問介護事業の通院援助を支援していただいております。住民参加型サービスとして、今後も当協議会で支援するとともに、町民の参加、協力を募ってまいります。

ボランティア活動につきましては、その内容を「ボランティア活動・住民活動の推進」と位置付け、関係団体、関連事業を支援するほか、地域住民が自主・自立の姿勢で地域の様々な分野で実践活動できる方向性を探ってまいります。

北海道地域福祉生活支援センターの実業であります「地域福祉権利擁護事業」につきましては、平成 24 年度におきましても現状継続で取り組んでまいります。当協議会に専任職の配置要望については、今後の検討課題とさせていただきます。

平成 23 年 8 月より新たな事業としてわかもの就労支援事業を町から委託され、現在は事業所開設に向けて準備を進めております。事業開始までには、まだまだ細かい部分の整備が必要となっておりますが、様々な理由により定職に就けずにいる 10 代のわかものの社会参加を目指した活動支援を行ってまいります。

当協議会だけでは決して解決できない課題、問題などを地域住民、関係機関、団体等との連携によりひとつでも多く、対応していけるように努力していきますとともに、「安心して生活できる福祉の町づくり」の実現に向けて地域住民のご理解とご協力を得ながら、諸事業を推進してまいります。

## 2 事業計画

### (1) 要援護世帯の把握と各関係機関、団体との連携

#### ① 各種世帯表の活用

定期的に独居老人世帯、老人夫婦世帯、その他要援護世帯等の世帯表を整備するとともに福祉サービス利用者等のマップの活用し緊急時、災害時等に利用。(福祉サービス利用者等マップについては平成23年度作成し、毎年変更箇所を更新を継続する。)

#### ② 各関係機関、団体との連携

在宅福祉サービスの提供機関として、医療・保健・福祉の総合的なサービスの連携、強化を図るとともに、民生委員、自治会、各種団体とのネットワークの構築、地域に存在する福祉ニーズの早期発見への協力を得る。

### (2) 地域福祉ネットワークづくり

#### ① 自治会福祉部の設置

地域福祉活動の共同組織として、自治会福祉部設置を推進する。

設置自治会には、活動助成金を交付する。

#### ② 小地域ネットワーク活動推進会議の開催

現在は自治会福祉部地域福祉会議として年1回開催。

自治会、関係機関等から要望等がある場合は随時情報提供していく。

### (3) 地域・在宅福祉情報の提供

社協だより「ゆうなぎ」を発行し、情報の提供を行う。

### (4) 心配ごと相談所の運営

社協役職員・民生・児童委員を主に、各関係機関との連携を図り、相談業務を行う。

### (5) 介護保険サービス事業等の実施

#### ① 訪問介護・介護予防訪問介護事業

365日実施(但し、土・日・年末年始は訪問時間を制限。)

AM6:00~PM11:00(緊急時については24時間対応体制の整備)

#### ② 通所介護・介護予防通所介護事業

月曜日から土曜日・祝祭日サービス実施(但し、年末年始を除く。)

AM8:00~PM6:00(デイサービス AM9:30~PM3:30)

#### ③ 訪問入浴介護事業

月曜日から金曜日・祝祭日サービス実施(但し、年末年始を除く。)

AM8:00~PM6:00(訪問入浴 AM9:00~PM3:00)

#### ④ 居宅介護支援事業

在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況・環境・本人や家族の希望等を踏まえて、利用するサービスの種類・内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整を行い、介護保険施設入所が必要な場合は関連施設への紹介等を行う。

月曜日から金曜日実施(但し、年末年始を除く。) AM8:30~PM5:00

## （６）障害福祉サービス(居宅)事業の実施

居宅介護・重度訪問介護

町内では唯一の実施機関であり、内容は介護保険事業内容と同様

365 日実施（但し、土・日・年末年始は訪問時間を制限。）

AM6:00~PM11:00(緊急時は24時間対応体制の整備)

※平成24年度より緊急連絡体制の整備から土・日・祝祭日及び早朝夜間、社協事務局不在時等は指定電話に転送するシステムを導入

## （７）高齢者生活支援等サービス事業の実施（受託事業）

### ① 高齢者等の生活支援サービス

日常生活において支援を要する全ての高齢者を対象として、身体状況、生活環境等を考慮して必要なサービスを提供いたします。

#### ア 配食サービス（給食サービス）

食事調理が困難な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、当該利用者の健康状態及び安否確認を行う。（週2回実施する。）

#### イ 通院・外出等支援サービス

寝たきり、車椅子利用者、著しい歩行困難者及び人工透析患者の通院等の送迎を行う。（土・日祝祭日・年末年始以外の実施。）

但し、人工透析患者送迎において、土曜日往路のみ実施している。

#### ウ 軽度生活支援サービス（ホームヘルプサービス）

軽易な日常生活上の援助を行うことにより、ひとり暮らし高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに要介護状態への進行を防止する。

但し、利用については週1回1時間程度とし、必要以上に過剰なサービス提供は行わない。

#### エ 電話サービス事業

緊急通報システム設置している高齢者に、ボランティアが電話にて安否確認を兼ねて様子伺いの声かけを実施。（月曜・火曜日利用）

### ② 高齢者電話サービス事業

緊急通報システム設置以外の高齢者・障害者等に電話サービス同様ボランティアが電話にて安否確認を行う。平成20年開始以来、5名程度の利用に留まる状況で継続。緊急事態の早期発見、孤独死等の防止等大切な役割と多くの高齢者、障害者に利用していただくよう周知を図る。

## （８）地域福祉の拠点づくり

### ① 浦河町社会福祉会館の管理

社協、地域の福祉団体、ボランティア団体等の地域福祉活動の拠点として、浦河町社会福祉会館の管理を行う。

## （９）ボランティア活動・住民活動の推進

### 1. ボランティア活動・住民活動センター（ボラセン）の運営

#### ①ボラセン運営事業

##### ・日常的業務

ボランティアコーディネーターを配置し、以下の業務を行う。

※ボランティアに関しての窓口対応、ボランティアニーズの把握、ボランティアネットワークの構築、ボラセンへの登録推進（個人・団体）ボランティア保険加入促進、日常的活動（給食・電話・施設訪問）の調整、エコマネーの推進及び管理、登録ボランティア（個人・団体）への各種案内、必要な支援等

- ・ボラセン運営部会の開催【年４回】
- ・ボランティア交流事業の実施【年１回】
- ・ふれあいお食事会の開催【年３回】
- ・作業交流会（おしゃべりサロン）の実施【年３回】

## ②各種研修事業

- ・中高生福祉体験活動「夏休み期間中の開催」
- ・ボランティア愛ランド北海道の参加
- ・各種ボランティア関係研修等への参加
- ・他市町村先進地視察

## ③ボランティア活動・住民活動推進啓発事業

- ・情報の提供（社協広報誌、ボランティア情報誌等）
- ・ボランティア協力校への助成「今年度～荻伏小学校」
- ・ボランティア団体・住民活動団体への助成

## 2. ボランティア団体・住民活動団体への側面的支援

- ・町内で活動中のボランティア団体や住民活動団体の活動の場として、社会福祉会館の利用を推奨していく他、必要に応じての支援を行う。  
（「老人と共に歩む会」、「子育てサポートバンビ」「マザー＆キッズ」等）

## （１０）住民参加型在宅福祉サービスの推進

高齢者生活支援団体「ポエム」の支援継続

日常生活において支援を要する高齢者等を対象に、在宅での自立した生活を可能にするため、生活支援団体「ポエム」の運営等について支援を行う。

## （１１）託老事業「愛の会」の支援

浦河町老人と共に歩む会が実施する、託老事業「愛の会」の運営等について支援する。

- ・実施回数 月１回（第３土曜日）
- ・対象者 町内で暮らす認知症や障害を持つ７５歳以上の高齢者

## （１２）地域・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成の支援

地域・在宅福祉サービスに係わるマンパワーの育成

日高地域人材開発センター等と連携し、従来のホームヘルパー講習や介護技術講習等に職員を派遣。民間事業所からの実習受入れなど、地域のマンパワー育成を支援する。

## （１３）地域福祉権利擁護事業の支援

地域福祉権利擁護事業の福祉サービスを援助している生活支援員に対し、情報交換、研修会など支援する。また、町民への事業内容の周知、理解及び生活支援員の増員、確保を図る。

#### (14) わかもの就労支援事業の実施（新規）

高等学校卒業（中途退学）、義務教育修了後において、様々な事情から定職に就けずにいる、わかもの（当面10代）に対して一人でも多く社会参加に結び付けるために町からの新規委託事業として平成23年8月より準備を進めている。現在事業を行う勤労青少年ホームの内装工事、必要な備品等も整備されつつあるが、正式な事業の開始は平成24年4月以降となる見通し。

#### (15) 当協議会ホームページの開設（新規）

当協議会の運営全般に関わる様々な情報提供を行うために、平成23年度よりホームページの開設準備を進めております。現在最終調整を行っている段階で、近日中には公開する予定。

浦河町社会福祉協議会 <http://www.shakyo.or.jp/hp/148/>

#### (16) 自立と社会参加活動の推進

住民組織の福祉団体に対する事業支援・援助活動を行う。

※社協が事務局として支援している団体

老人クラブ連合会・老人と共に歩む会・身体障害者福祉協会・北海道共同募金会浦河町共同募金委員会等

#### (17) その他の事業

- ① 赤い羽根共同募金運動への協賛
- ② 生活福祉資金貸付事業
- ③ 母子・寡婦福祉資金貸付事業
- ④ 浦河町母子等福祉資金貸付事業
- ⑤ 日常生活用具（福祉機器）の無料貸出し
- ⑥ リサイクル事業（プルタブ等）